



同時発表
国土交通省

記者発表資料 配布日時 令和6年10月4日 14:00

■同時資料提供先：合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、島根県政記者会、中国地方建設記者クラブ

『津和野まち歩き』が 令和6年度 都市景観大賞 「景観まちづくり活動・教育部門」で 『優秀賞』を受賞！！

都市景観大賞（主催：「都市景観の日」実行委員会）は、良好な景観の形成に資する普及啓発活動の一環として、平成3年度より毎年度実施されている表彰制度です。

景観に関する優れた地区・活動に対して表彰し、更なる取組みの契機としていただくとともに、全国に広く紹介し良好な景観の形成が進んでいくことを目的としています。



重要伝統的建造物保存地区に選定されている、歴史ある街並み



百景図に描かれている青野山麓の茶畑が一望できる、お茶テラス

○受賞活動

津和野まち歩き（島根県鹿足郡津和野町）

○受賞者

津和野町

津和野町日本遺産活用推進協議会

<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 建政部 082-221-9231（代表）

【担当】

計画管理課長

にしお さとこ
西尾 聡子（内線 6121）

計画管理課長補佐

おか たかはる
岡 孝治（内線 6123）

令和6年度 都市景観大賞

1. 都市景観大賞とは

都市景観大賞（主催：「都市景観の日」実行委員会）は、良好な景観の形成に資する普及啓発活動の一環として、平成3年度より毎年度実施されている表彰制度です。

景観に関する優れた地区・活動に対して表彰し、更なる取組みの契機としていただくとともに、全国に広く紹介し良好な景観の形成が進んでいくことを目的としています。

2. 都市景観大賞の表彰部門について

現在、都市景観大賞では以下の2部門により募集・審査が実施されています。

＜都市空間部門＞

公共空間とその周りの宅地・建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、それを市民が十分に活用することによって、地域の活性化が図られている地区を対象とするもの。

＜景観まちづくり活動・教育部門＞

景観まちづくり教育の実施や、街歩きや景観に関するセミナーの開催、景観制度を活用した取組など景観まちづくり活動の実施による良好な景観形成等のための活動を地域に根差して行っており、それらが地域の人々の良好な景観形成等への意識・関心の高揚等につながっている優れた活動を対象とするもの。

今回の「津和野まち歩き（島根県鹿足郡津和野町）」は、景観まちづくり活動・教育部門における受賞になります。

※受賞地区の詳細は別紙をご確認ください。

3. 参考資料

- 別紙1 令和6年度 中国地方における受賞地区、活動の詳細
- 別紙2 令和6年度 景観まちづくり活動・教育部門一覧（全国分）
- 別紙3 中国地方における過去の受賞経歴
- 別紙4 令和6年度 都市景観大賞募集内容

優秀賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

津和野まち歩き

活動エリア 島根県鹿足郡津和野町

応募者 津和野町、津和野町日本遺産活用推進協議会

活動概要

津和野町は景観法制定よりも前から景観に対する独自の条例を作成し、地域住民一体となって景観を守る取り組みを進めており、町の財産である歴史的な町並みの保存と伝統文化の継承に努めています。

2016年に津和野町の「～津和野今昔～百景図を歩く」百景図が日本遺産に認定され、津和野町出身文豪「森鷗外」が幼少期に見たであろう津和野町の歴史ある景観を、現在と対比させ歴史を感じながら町歩きを楽しむ取り組みを進めています。

日本遺産活用推進協議会では、日本遺産構成要素の保全・継承につながるための地域通貨の実証実験やガイドを伴った町歩きツアーの実施、日本遺産を巡る体験ツアーなど多方面にわたって取り組んでおり、町民が長きにわたって英断と努力により現在の町並みを伝えてきた事実を伝えていきます。

こうした一連の活動を通じ、失われていく景観を守り、次世代に継承する意義を見出し、人々の景観への意識や関心の向上につなげていけるよう努めています。

審査講評

津和野町は、2013年「重要伝統的建築物保存地区」に選定、2016年「津和野今昔～百景図を歩く～」が日本遺産に認定されるなど、日本を代表する歴史的なまちである。日本遺産の「百景図」とは幕末から現在に伝わる津和野の魅力を表現したもので、「自然」「歴史文化」「四季」「食文化」に関する100枚の絵図で構成されている。2021年日本遺産の推進母体である「日本遺産推進協議会」のメンバーが若手にシフトしたことから、百景図をテーマにしたユニークな景観まちづくり活動が展開しはじめた。例えば、「新規商品開発支援事業補助金」により、百景図(No.80)に描かれた青野山麓の茶畑に「お茶テラス」を整備し観光客に煎茶をサービスしたり、百景図(No.17)に描かれた鷺舞をラベルデザインにした日本酒を販売したりしている。さらに、ある協議会メンバーは、古民家を改修してモダンなインテリアデザインの中で津和野町創業のザラ茶「茶房」を開業している。観光客はもちろん、移住者も増えつつあるということで、百景図という資源を切り口に津和野のまちは着実に活性化しつつある。このように、津和野町は新旧の景観的魅力を効果的に調和させるなどのまちづくり活動を積極的に展開していることから、全国の歴史的なまちの再生モデルとして評価することができる。(卯月)



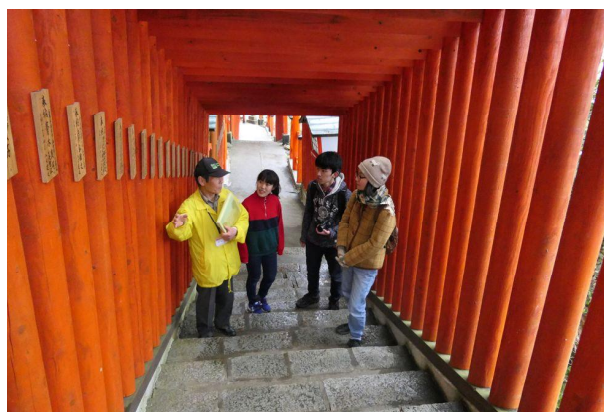
重要伝統的建築物保存地区に選定されている、歴史ある街並み。



百景図に描かれている青野山麓の茶畑が一望できる、お茶テラス。



町歩きツアーで日本遺産の構成要素「津和野城跡」体験ツアーに参加された皆さんとガイド。



町歩きツアーで日本遺産の構成要素を案内するコンシェルジュ。

景観まちづくり活動・教育部門 受賞活動一覧

優秀賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

活 動 名	活動エリア	
白河市における景観学習	福島県 白河市	・ 白河市 ・ 日本大学工学部建築学科住環境計画研究室 ・ 白河市立白河第一小学校 ・ 白河市立釜子小学校 ・ 白河市立関辺小学校 ・ 白河市立みさか小学校 ・ 白河市立大信小学校
津和野まち歩き	島根県 鹿足郡 津和野町	・ 津和野町 ・ 津和野町日本遺産活用推進協議会

特別賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

活 動 名	活動エリア	
守ろう棚田と景観 育てよう地域の花 つくろう地域の輪	新潟県 上越市 安塚区	・ 朴の木自治会 ・ 上越市立安塚小学校 ・ 上越市立東頸中学校（旧安塚中学校） ・ 上越市安塚区おぐろ地区指定棚田地域振興協議会 ・ 上越市役所安塚区総合事務所

* 同賞の活動が複数ある場合には、総務省全国地方公共団体コード順に掲載しています。
 ※今年度は、大賞（国土交通大臣賞）の該当地区はありませんでした。詳しくは、小澤審査委員長の総評（p.9）をお読みください。

都市景観大賞 中国地方における過去の受賞履歴

(平成13年度以降)

「美しいまちなみ賞」(平成13年度～平成22年度)

年 度	表彰内容	地 区 名	応 募 者
平成13年度	優秀賞	福山市 福山久松通り地区	・福山久松通商店街振興組合 ・広島県福山市 ・福山商工会議所
平成17年度	大賞	倉吉市 打吹地区	・打吹地区歩行ネットワークを考える会 ・鳥取県倉吉市
平成18年度	優秀賞	津和野町 環境保全地区	・津和野町まちづくり検討委員会 ・島根県津和野町
平成19年度	優秀賞	宇部市 中央町三丁目地区	・宇部中央地区再開発推進協議会 ・山口県宇部市
平成20年度	優秀賞	鳥取市 夢街道・鹿野往来城下町地区	・特定非営利活動法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会 ・鳥取県鳥取市
平成21年度	大賞	真庭市 勝山町並み保存地区	・かつやま町並み保存事業を応援する会 ・岡山県真庭市
平成22年度	大賞	倉敷市 倉敷美観地区	・倉敷建地区をまもり育てる会 ・特定非営利活動法人倉敷町家トラスト ・岡山県倉敷市

「都市空間部門」(平成23年度以降～)

年 度	表彰内容	地 区 名	応 募 者
平成23年度	優秀賞	江津市域地区	・島根県江津市
	優秀賞	浜崎地区	・浜崎しっちゃん会 ・山口県萩市
平成24年度	大賞	吹屋地区	・吹屋町並保存会 ・岡山県高梁市
平成25年度	大賞	城下町長府地区	・城下町長府景観協議会 ・下関市
平成27年度	優秀賞	神門通り地区	・島根県 ・出雲市 ・神門通り荘りの会
平成30年度	優秀賞	三次町歴史的街並み景観形成地区	・三次町歴みち協議会 ・三次地区自治会連合会 ・三次市
令和2年度	優秀賞	奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観 (国選定重要文化的景観)	・奥出雲町 ・奥出雲町教育委員会 ・奥出雲町農業遺産推進協議会 ・奥出雲町文化体験実行委員会 ・公益財団法人可部屋集成館 ・公益財団法人絲原記念館 ・一般社団法人奥出雲地域活性化プロジェクト ・大原新田棚田保全管理委員会
	優秀賞	尾道市景観地区 (尾道・向島歴史的風致地区)	・尾道市
	優秀賞	徳山駅周辺地区	・周南市 ・周南市中心市街地活性化協議会 ・山口県建築士会徳山支部
令和3年度	優秀賞	山口県長門市深川湯本地区 (長門湯本温泉)	・長門湯本温泉観光まちづくり推進会議 ・長門湯本温泉観光まちづくりデザイン会議
令和4年度	優秀賞	久松地区 【鳥取県鳥取市】	・鳥取市 ・鳥取市教育委員会
		倉敷市阿知3丁目東地区 【岡山県倉敷市】	・あちてらす倉敷まちづくり協議会 ・倉敷まちづくり株式会社 ・倉敷市 ・株式会社アール・アイ・エー ・株式会社藤木工務店
		新山口駅周辺地区 【山口県山口市】	・山口市 ・株式会社プランツアソシエイツ

「景観まちづくり活動・教育部門」(平成28年度～)

年 度	表彰内容	活 動 名	応 募 者
平成25年度	大賞	関門地区(北九州・下関市) 景観ウォッチング&セミナー	・公益社団法人福岡県建築士会北九州地域会 ・山口県建築士会下関支部 ・関門景観協議会(下関市・北九州市)
令和3年度	優秀賞	町歩きガイドツアー 「古地図を片手に、ぶらり萩あるき」	・NPO萩まちじゅう博物館 ・NPO萩観光ガイド協会 ・浜崎しっちゃん会 ・須佐地域史跡案内ボランティアガイドの会 ・萩往還佐々並どうしんてやろう会 ・萩市

※当部門は平成23～27年度には「景観教育・普及啓発部門」として募集・表彰されていきました。

令和6年度 都市景観大賞について

令和6年度は、下記の通り「都市空間部門」と「景観まちづくり活動・教育部門」について募集・審査しました。

I 都市空間部門について

1. 表彰目的

都市景観大賞「都市空間部門」は、良好な都市景観を生み出す優れた事例を選定し、その実現に貢献した関係者を顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 表彰内容

① 大賞（国土交通大臣賞） 1地区

② 優秀賞 数地区

特別賞を適宜選定し、その位置づけは、審査委員会で決定することとします。

3. 対象地区の要件

本賞は、街路・公園・水辺・緑地等のパブリックスペースと建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、それを市民が十分に活用することによって、地域の活性化が図られている地区を対象とします。単独の「公共施設・民間建築物（付属公開空地等を含む場合も同じ）・構造物（付属公開空地等を含む場合も同じ）」は対象になりません。

4. 応募者の資格

良質で優れた都市景観の実現に深く寄与した地方公共団体、まちづくり組織、市民団体、民間企業・コンサルタント、独立行政法人、公社等とします。

※多くの関係者による共同応募が望ましいですが、単独でも応募者になります。

※応募者に地方公共団体が含まれない場合には、地方公共団体の確認を得たうえで応募してください。

5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察、ヒアリング）した上で、表彰地区を選定します。

6. 審査委員

〔委員長〕

陳内 秀信 法政大学特任教授、中央区立郷土天文館館長

〔委員〕

池邊このみ 千葉大学 グランドフェロー

卯月 盛夫 早稲田大学名誉教授

岸井 隆幸 (公財)都市づくりパブリックデザインセンター理事長、
(一財)計量計画研究所代表理事

佐々木 葉 早稲田大学教授

高見 公雄 法政大学教授

田中 一雄 (株)GK デザイン機構代表取締役

富田 泰行 トミタ・ライティングデザイン・オフィス代表取締役

国土交通省 都市局公園緑地・景観課長

国土交通省 都市局市街地整備課長

国土交通省 住宅局市街地建築課長

(順不同、敬称略、2024年8月時点)

II 景観まちづくり活動・教育部門について

1. 表彰目的

都市景観大賞「景観まちづくり活動・教育部門」は、地域に関わる人々が景観に関心を持ち、自らの問題として捉え、その解決へ向けて活動できるよう意識啓発、知識の普及、景観法や景観に関する制度等（以下「景観制度」という。）を活用した取組等による活動を選定・顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 表彰内容

① 大賞（国土交通大臣賞） 1活動

② 優秀賞 数活動

特別賞を適宜選定し、その位置づけは、審査委員会で決定することとします。

3. 対象活動の要件

景観まちづくり教育の実施や、街歩きや景観に関するセミナーの開催、景観制度を活用した取組等景観まちづくり活動の実施による良好な景観形成等のための活動を地域に根差して行っており、それらが地域の人々の景観への意識・関心の高揚等につながっている優れた活動を対象とします。

4. 応募者の資格

景観まちづくり活動や景観まちづくり教育による意識啓発、知識の普及、景観制度を活用した取組等を行っている、学校、まちづくり組織、市民団体、地方公共団体等で、かつ、地域に根差した活動を3年以上継続して実施している団体とします。

5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察、ヒアリング）した上で、表彰活動を選定します。

6. 審査委員

〔委員長〕

小澤紀美子 東京学芸大学名誉教授

〔委員〕

卯月 盛夫 早稲田大学名誉教授

楚良 浄 元東京都立学校指導教諭

福井 恒明 法政大学教授

国土交通省 都市局公園緑地・景観課長

(順不同、敬称略、2024年8月現在)

■主催：「都市景観の日」実行委員会※下線は協賛団体も兼ねています

(公財)都市づくりパブリックデザインセンター、(公財)都市計画協会、(一社)日本公園緑地協会、(独)都市再生機構、

(一財)民間都市開発推進機構、(公社)日本都市計画学会、(一財)都市みらい推進機構、(公社)街づくり区画整理協会、

(一社)日本屋外広告業団体連合会、全国景観会議、都市景観形成推進協議会、歴史的景観都市協議会、全国街路事業促進協議会

■後援：国土交通省

■協賛団体：

(一財)都市文化振興財団、(一財)計量計画研究所、(公財)区画整理促進機構、(公社)日本交通計画協会、(一社)再開発コーディネーター協会、

(一社)日本造園建設業協会、(一財)公園財団、(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会、(公社)日本下水道協会、

(公財)自転車駐車場整備センター、(公社)立体駐車場工業会、全国土地区画整理事業推進協議会、都市再開発促進協議会

■事務局：(公財)都市づくりパブリックデザインセンター

〒112-0013 東京都文京区音羽 2 丁目 2 番 2 号 アベニュー音羽 2 階 TEL 03-6912-0799 URL <https://www.udc.or.jp>